SoftBank Technology

株主通信

2009.4.1 ▶ 2009.9.30

第22期
第2四半期

Online Business Solution & Service

SOFTBANK TECHNOLOGY CORP.

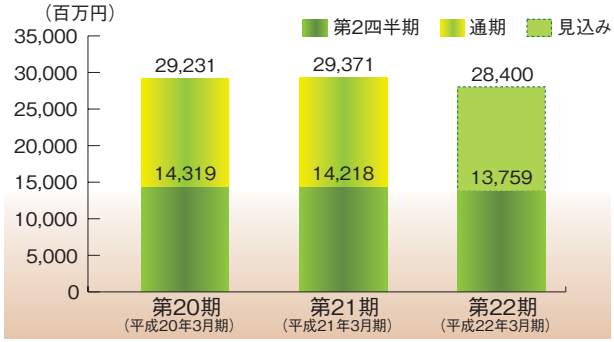
財務ハイライト

第22期 第2四半期連結業績

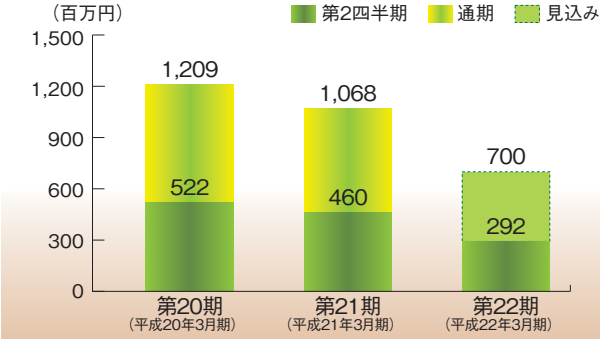
（自 平成21年4月1日　至 平成21年9月30日）

売上高	13,759百万円
経常利益	292百万円
四半期純利益	187百万円
純資産	6,983百万円

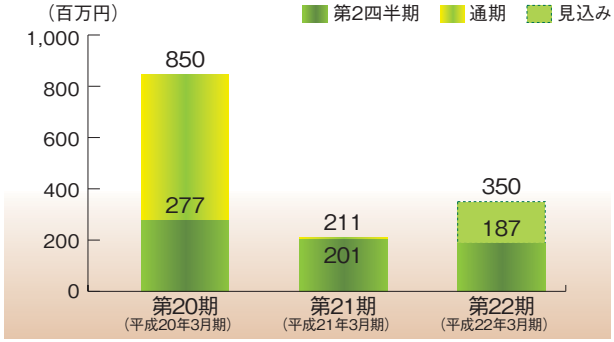
●売上高の推移と見込み



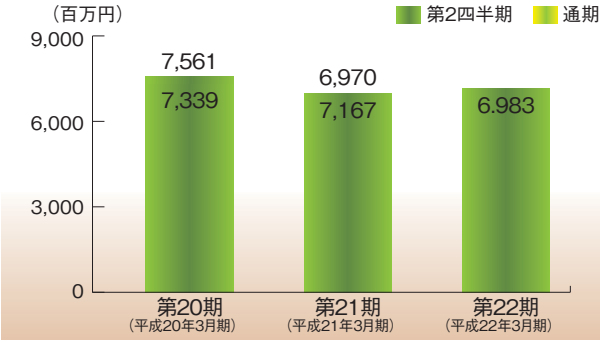
●経常利益の推移と見込み



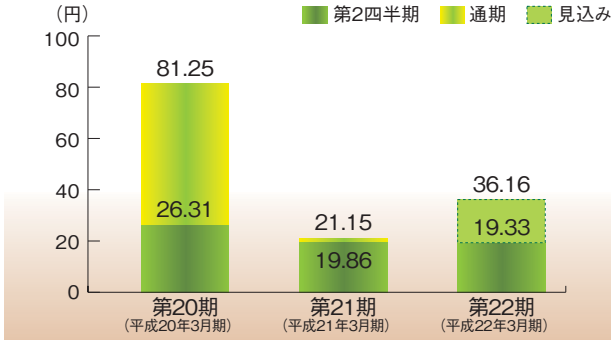
●四半期（当期）純利益の推移と見込み



●純資産の推移



●1株当たり四半期（当期）純利益の推移と見込み



（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

株主の皆様へ

第22期（平成22年3月期）第2四半期決算報告について

代表取締役社長
石川 憲和

当第2四半期連結累計期間の売上高は13,759百万円（前年同期比△3.2%）、営業利益は219百万円（前年同期比△48.4%）となりました。イービジネスサービス事業では増収増益となりました。ソリューション事業では売上の減少に伴う稼働率の低下をコスト削減で補うものの、不採算システム開発案件の発生、新規事業の黒字化遅れにより営業利益は減少しました。経常利益は、持分法による投資利益が増加して292百万円（前年同期比△36.5%）となりました。特別損失では投資有価証券の評価損、販売用ソフトウエアの臨時償却費が発生したものの、特別利益では投資有価証券の売却益を計上したことにより、四半期純利益は187百万円（前年同期比△7.0%）となりました。

顧客のIT投資意欲が本格回復に至らない中、事業のサービス化により収益性が向上し、さらに内製化による外注コストの削減、およびプロジェクトマネジメント体制の具体的強化による収益管理に着手しております。その結果、第1四半期連結会計期間の営業損失は11百万円でありましたが、当第2四半期連結会計期間の営業利益は231百万円と黒字化しております。

当第2四半期は配当を行いませんが、当期末におきましては、前期末に実施しました1株あたり16円を基準に検討してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス

株式会社ファンケルのオンラインストアに『TeamSite』を導入

有効なSEO対策により、新規顧客の獲得と管理制度の向上を実現

化粧品から、食品・雑貨など、健康に関する多様なアイテムを販売している株式会社ファンケルのオンラインショップ「ファンケルオンライン」に、コンテンツ・マネージメント・システムである「TeamSite」を導入しました。

「TeamSite」は、Webコンテンツ管理における制作や承認、配信といったすべての業務プロセスを最適化するWebマーケティングツールです。コンテンツの作成から承認プロセス、配信に至るWebコンテンツ管理の全てのプロセスを最適化し、生産性効率の向上とメンテナンス業務の簡素化を実現します。また、テンプレートを利用しない実装方法が選択できるため、導入時のコストをおさえ、運用中の管理負荷を削減することができます。さらに、ページ単位での履歴管理だけでなく、日時指定でサイトの状況を復元することでコンプライアンス対応ができるのも大きな特長です。

本導入事例を、当社のWebマーケティング推進における更なる足がかりとしていく次第です。

FANCL

通信販売大手 株式会社ニッセンに、仮説検証によるWebサイトコンテンツ最適化ツール『Omniture Test＆Target™』の提供を開始

通信販売業界大手の株式会社ニッセンのオンラインショップに、「Omniture Test&Target™」(以下、Test&Target)を導入しました。「Test&Target」の導入により、WebサイトなどオンラインコンテンツのA/Bテスト、ならびに多変量テストやコンテンツ最適化を積極的に行うことが可能となり、ダイレクトマーケティングのイノベーターであるニッセンのOne to Oneマーケティングを促進させます。

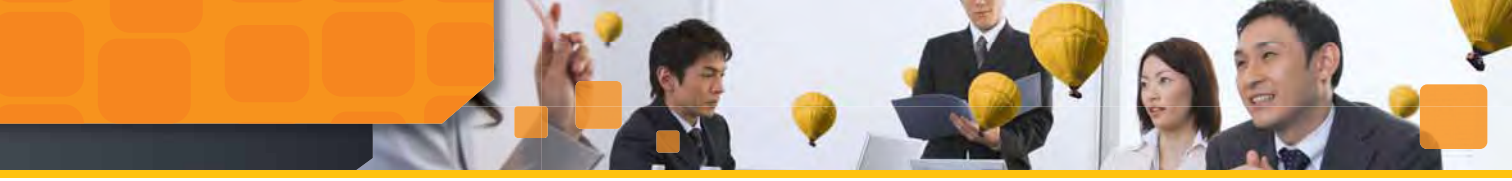
「Test&Target」は検証作業や分析、ターゲティング手法の実施、自動化、および効果測定を直感的でわかりやすいインターフェースから行うことができる最適なソリューションです。設定から管理までを一つのアプリケーションで行えるため、テストの結果に基づいた最適なターゲティングが可能となります。

当社は今後も、より一層、お客様のニーズに沿う形での総合的なWebマーケティングサービスをご提供します。

nissen GROUP
LIGHT UP YOUR LIFE

ユーザの属性ごとにランディングページを最適化、適切なコンテンツを表示

例えば・・・・ ○キャンペーンサイトから訪問したユーザにセール用バナーを常時表示する
○ユーザの入力した検索キーワードごとにトップページのバナーを変更する
○ユーザの訪問回数毎にページの文言を変更する



トライベック・ストラテジーと資本提携

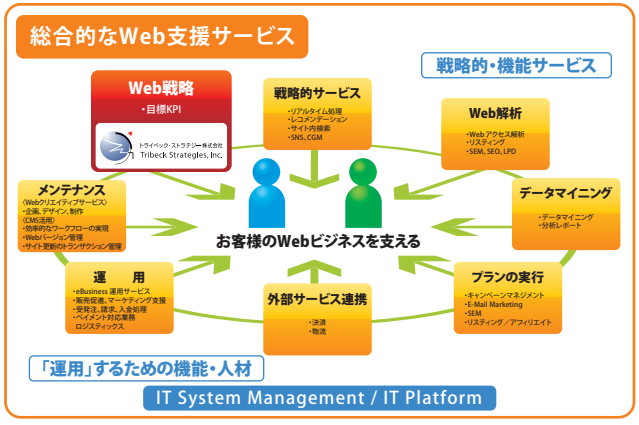
―― Webコンサルティング、インテグレーション事業分野における関係強化 ――

当社は、トライベック・ストラテジー株式会社（以下、トライベック）と資本・業務提携し、Web コンサルティング、インテグレーション事業分野での、より一層の充足したサービス提供を推し進めます。

当社はこれまで、Web マーケティング事業においてアクセス解析、コンテンツマネジメントシステムなど、テクノロジーサービスの分野で数々の実績を誇ってまいりました。一方、Web 戦略策定コンサルティングサービスからサイト構築、運営支援までのソリューションを提供するトライベックは、当該分野において、各業界の大手業に対するソリューション提供の実績を持ち、企業のWeb 戦略を支援する先駆者として、その歩みを進めています。

当社がトライベックに資本参画することで、当社のテクノロジーを主体としたソリューションとトライベックのWeb 戦略コンサルティングサービスを合わせた、より総合的なWeb マーケティング支援サービスを提供することが可能となります。

今後、両社の持つ強みであるWeb コンサルティングならびにインテグレーション事業分野においてさらなる強化を図り、これまでにない高品質なソリューションとサービスの提供を目指します。



CSR活動への取り組みを本格始動

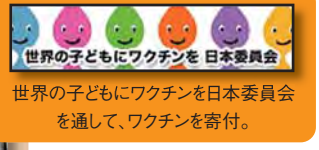
―― あすのインターネット社会に向けたCSR ――

当社では、2009年をCSR（Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任）元年と定め、企業を取り巻く各ステークホルダーに向けて、さまざまな取り組みを開始いたしました。

環境への取り組みとして、社内手続きのシステム化によりペーパーレスを実現、また、チームマイナス6%への参加とともにクールビズ/ウォームビズを推奨しています。さらにペットボトルキャップの収集活動を行い、慈善団体を通じて世界の子どもたちにワクチンを送る活動を支援しています。今上期では18000個のキャップを回収、これは結核用のワクチンでは66名に相当する分量です。

従業員に向けた取り組みとしては、社員一人ひとりが最大限の力を発揮できる環境づくりの推進や、オフタイムでもさらなる交流を図ってもらうため、社内クラブ制度を導入しました。現在では、野球やテニス・フットサル・駅伝などのクラブが運営され、部門・役職を超えた交流に一役買っています。

当社では、これらのCSR活動を通じ、あすのインターネット社会に向けた事業に取り組むと同時に、発展を続けてまいります。



世界の子どもにワクチンを日本委員会を通して、ワクチンを寄付。

ペットボトルキャップ回収BOX

クラブ活動

事業の概況

当社は、ネットワークインテグレーションとシステムインテグレーションをバランスよく融合させたIT基盤サービスと、それに支えられた「強固なセキュリティと一貫した運用サービス」を提供いたします。このIT基盤・運用サービスを今期より、モバイルを含めた「Business Communication Solution & Service」と位置づけ顧客のビジネス環境をセキュリティとコストダウンの切り口で支えるソリューションを訴求しています。

これら基礎の上に、ECのプロデュース&コンサルティング、Webマーケティング、モバイルの法人向けアプリケーション開発及びそのプラットフォーム提供の3点から構成される「Online Business Solution & Service」を、インターネットを活用したオンラインビジネスの展開を図る顧客に対して提供しています。今後も、①「Online Business Solution & Service」のもつWebマーケティングとイービジネスのソリューション&サービス、②「Business Communication Solution & Service」のもつIT基盤・運用サービス、そして③モバイルの3つのサービスを推進し、それぞれの連携を強化していきます。

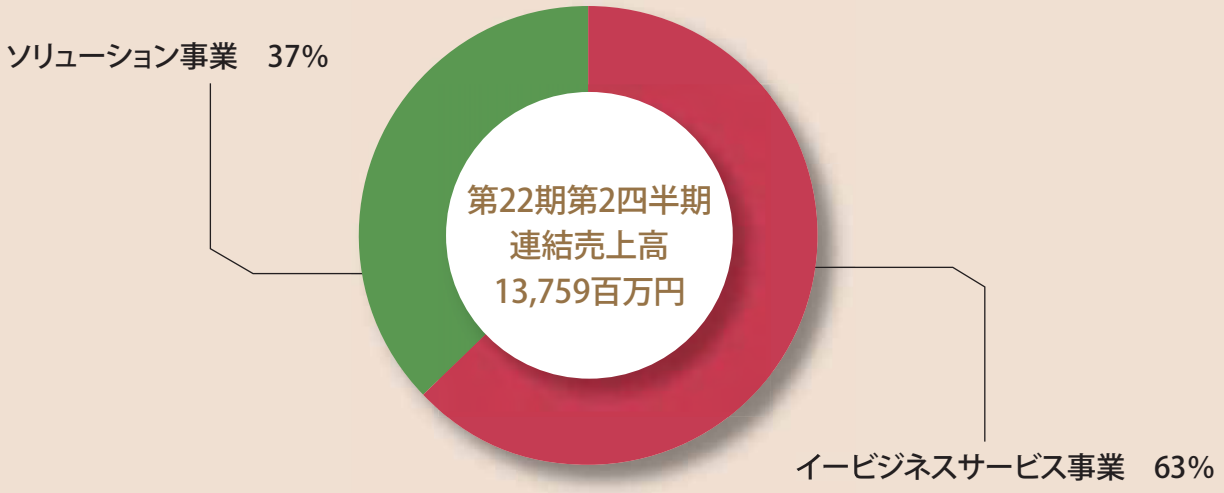
●イービジネスサービス事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は8,612百万円(前年同期比+3.0%)、営業利益は450百万円(前年同期比+15.8%)となりました。売上高ではEC事業者へのバックオフィス業務運営をトータルサービスとして提供するイーショップエイジェント・アウトソースサービス事業において、ウイルス対策ソフトの売上が増加しました。営業利益においては、売上の増加に加えて、利益率の高い商品構成を高めることで増益となりました。

●ソリューション事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は5,147百万円(前年同期比△12.2%)、営業損失は230百万円(前年同期は37百万円の黒字)となりました。売上高は顧客のIT投資抑制により減少しました。営業損益においては、システム開発における不採算案件の発生に伴う損失133百万円の影響もあり、営業損失に転じました。当第2四半期連結会計期間においては、稼働率の向上とコスト削減が進み、営業損失はなくなりました。

事業別連結売上高構成比率



四半期連結財務諸表

POINT 1

流動資産

主に売掛金及び受取手形の減少により、255百万円減少しました。

POINT 2

固定資産

主に有形固定資産の増加により、96百万円増加しました。

POINT 3

流動負債

主に未払法人税等の減少により、210百万円減少しました。

POINT 4

純資産

完全子会社化による少数株主持分の減少はありましたが、利益剰余金とその他有価証券評価差額金の増加により、12百万円増加しました。

●四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	当第2四半期連結会計期間末（平成21年9月30日）	前連結会計年度末（平成21年3月31日）
資産の部		
流動資産 ❶	**7,690,877**	**7,946,664**
現金及び預金	3,177,314	3,194,645
受取手形及び売掛金	3,216,325	3,735,637
有価証券	100,000	–
商品	173,542	111,877
仕掛品	383,998	231,309
繰延税金資産	155,384	130,973
その他	486,841	545,652
貸倒引当金	△2,530	△3,432
固定資産 ❷	**4,404,335**	**4,307,599**
有形固定資産	429,309	360,565
無形固定資産	507,924	528,008
投資その他の資産	3,467,101	3,419,025
資産合計	**12,095,212**	12,254,263

科目	当第2四半期連結会計期間末（平成21年9月30日）	前連結会計年度末（平成21年3月31日）
負債の部		
流動負債 ❸	**4,918,601**	**5,128,722**
買掛金	3,540,699	3,534,377
未払法人税等	57,444	289,940
その他	1,320,457	1,304,404
固定負債	**193,440**	**155,154**
長期前受金	186,357	155,154
繰延税金負債	7,083	–
負債合計	**5,112,042**	**5,283,876**
純資産の部		
株主資本	**6,929,037**	**6,898,375**
資本金	634,555	634,555
資本剰余金	712,204	712,204
利益剰余金	6,329,757	6,297,525
自己株式	△747,481	△ 745,910
評価・換算差額等	**54,133**	**9,924**
少数株主持分	**—**	**62,088**
純資産合計 ❹	**6,983,170**	**6,970,387**
負債純資産合計	**12,095,212**	**12,254,263**

（注1）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。　（注2）POINTの記載は、対前連結会計年度末比となっております。

●四半期連結損益計算書

（単位：千円）

科 目	当第2四半期連結累計期間 自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日	前第2四半期連結累計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日
売上高 ❶	**13,759,459**	**14,218,762**
売上原価	12,657,746	12,848,220
売上総利益	**1,101,712**	**1,370,541**
販売費及び一般管理費	881,966	944,755
営業利益 ❷	**219,745**	**425,786**
営業外収益	72,887	45,902
営業外費用	113	11,328
経常利益 ❸	**292,519**	**460,360**
特別利益	102,068	16,875
特別損失	139,237	129,194
税金等調整前四半期純利益	**255,350**	**348,040**
法人税、住民税及び事業税	66,623	226,149
法人税等調整額	△11,491	△56,294
少数株主利益又は少数株主損失（△）	13,085	△22,969
四半期純利益 ❹	**187,133**	**201,155**

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科 目	当第2四半期連結累計期間 自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日	前第2四半期連結累計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	419,985	974,771
投資活動によるキャッシュ・フロー	△280,506	51,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156,810	△357,582
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	**△17,331**	**668,689**
現金及び現金同等物の期首残高	3,194,645	2,617,532
現金及び現金同等物の四半期末残高	**3,177,314**	**3,286,221**

（注1）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。　（注2）POINTの記載は、対前年同期比となっております。

POINT 1

売上高

イービジネスサービス事業では増収となりましたが、ソリューション事業での顧客のIT投資抑制の影響もあり、459百万円減少の13,759百万円となりました。

POINT 2

営業利益

売上の減少による稼働率の低下をコスト削減で補うものの、不採算システム開発案件の発生等により減少し、219百万円となりました。

POINT 3

経常利益

持分法による投資利益の増加はありましたが、前年同期より減少し、292百万円となりました。

POINT 4

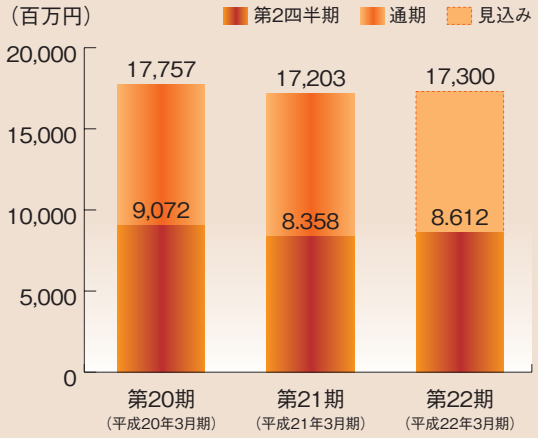
四半期純利益

投資有価証券の売却益で特別利益が増加しましたが、14百万円減少の187百万円となりました。

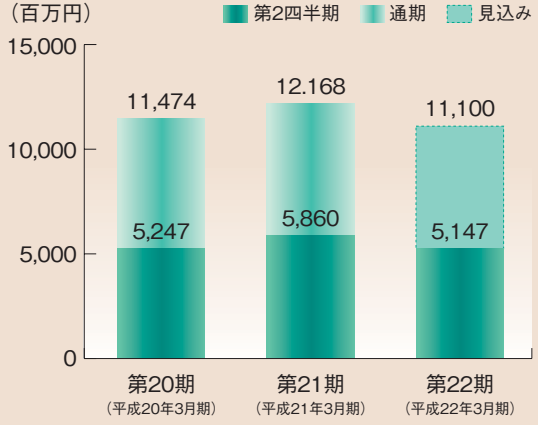
通期の業績見通し・会社概要

事業別連結売上高の推移

●イービジネスサービス事業



●ソリューション事業



通期の業績見通し

イービジネスサービス事業では、EC事業者へのバックオフィス業務運営トータルサービスにおいて、ウイルス対策ソフトの期限到達分の自動延長課金（オートリニューアル）サービスが開始されており、更新率の向上による売上増、および高付加価値商材への誘導による収益の安定が見込まれます。また、システムの自動化や省力化の推進、不採算ECショップの閉鎖などにより、更なる収益向上にも尽力してまいります。

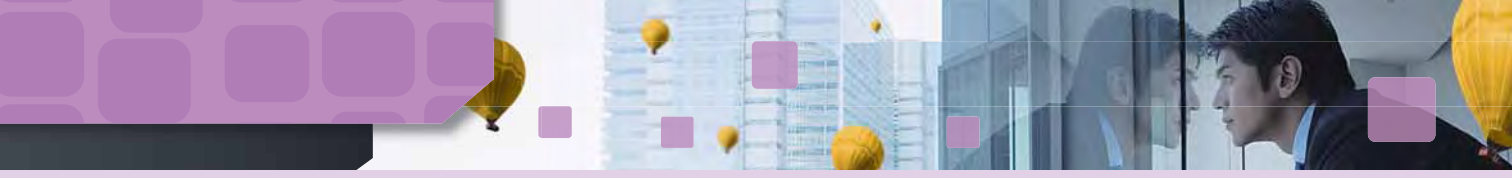
ソリューション事業では、顧客のIT投資意欲が本格回復に至らない中、事業のサービス化を推進し、収益の安定化を目指します。Webマーケティングソリューション&サービスでは、Web戦略策定コンサルティングサービスを強化したことで、より総合的なサービスラインナップとなり、今後の利益貢献が期待されます。IT基盤サービスでは、クラウドコンピューティング型オンラインストレージサービスをはじめとしたインターネット経由のビジネスコミュニケーションをサポートするメニューを拡充し、中小企業から大手企業まで幅広い顧客に展開していきます。

Mobileソリューション&サービスでは、法人向け携帯接続基盤サービス「Bizフェイス」が順調に受注を増やしており、今期より新たに法人向け携帯アプリケーション群「みんなの業務アプリ」シリーズを販売開始したことで、今後の利益貢献が期待されます。

マネジメント面では、不採算事業の整理や、人的リソースの適正配置による内製化を推進し、経費削減を積極的に行ってまいります。当第2四半期より既に実施しているプロジェクトマネジメント体制の具体的強化による収益管理についても引き続き推進してまいります。

これらの状況を踏まえ、通期の業績は、連結売上高28,400百万円（前期比△3.3%）、連結営業利益700百万円（前期比△30.5%）、連結経常利益700百万円（前期比△34.5%）、連結当期純利益350百万円（前期比+65.9%）と予想しております。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



●会社概要

商号	ソフトバンク・テクノロジー株式会社
本店所在地	東京都新宿区西五軒町13番1号
事業所	飯田橋オフィス（本社）、お茶の水オフィス、大阪支社、名古屋オフィス、福岡支社
事業内容	「イービジネスサービス事業」および「ソリューション事業」
ホームページ	http://www.softbanktech.co.jp/
資本金	634,555千円（平成21年9月30日現在）
従業員数	474名（連結）、419名（単体）（平成21年9月30日現在）
主な子会社	イー・コマース・テクノロジー株式会社、イーシー・アーキテクト株式会社 M-SOLUTIONS株式会社

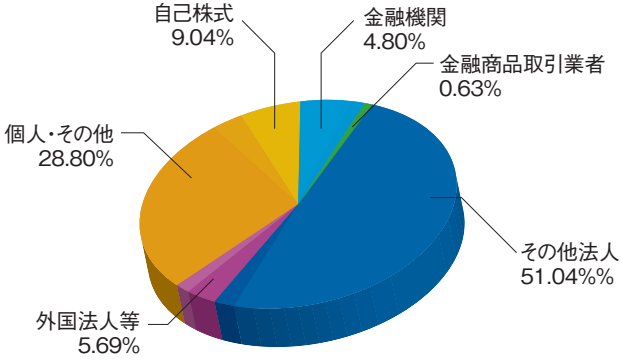
●役員

代表取締役社長	石川 憲和
取締役	鈴木 勝則
取締役	志水 直樹
取締役	桐榮 誠一
取締役	中澤 信一
取締役	青木 克志
常勤監査役	岩瀬 岑生
監査役	佐野 光生
監査役	後藤 芳光
監査役	三木 雄信

●株式の状況（平成21年9月30日現在）

会社が発行する株式の総数……42,560,800株
発行済株式の総数……10,640,200株
株主数……4,986名

●所有者別持株比率（平成21年9月30日現在）



●大株主（平成21年9月30日現在）

株主名	持株数（株）	出資比率（%）
ソフトバンク株式会社	5,367,500	55.45
ビービーエイチ フオー フイデリテイー ロー プライス ストツク フアンド（常任代理人　株式会社三菱東京UFJ銀行）	525,000	5.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	137,900	1.42
石川 憲和	120,000	1.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	97,000	1.00
山田 勝男	60,000	0.61
金子 博昭	50,000	0.51
クリアストリーム バンキング エス エー（常任代理人　みずほコーポレート銀行決済営業部）	42,845	0.44
真鳥 俊幸	39,000	0.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口1）	33,500	0.34

（注）出資比率は、自己株式（961,666株）を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂7丁目10番11号 0120-232-711（通話料無料）
上場取引所	東証第一部（コード番号 4726）
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による掲載ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 http://www.softbanktech.co.jp/

お知らせ

❶株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

❷特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

❸未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

SoftBank Technology

ソフトバンク・テクノロジー株式会社

〒162-0812 東京都新宿区西五軒町13-1 飯田橋ビル3号館
TEL. 03-5206-3300（代表）
http://www.softbanktech.co.jp/
●本誌の内容に関しましては広報IR室にお問い合わせください。
広報IR室　TEL. 03-5206-3316

IS 88704 / ISO（JIS Q）27001

10820357(02)

※記載されている会社名、ロゴ、製品名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Copyright © 2009, SOFTBANK TECHNOLOGY CORP. All Rights Reserved.